

募金した人にトートバッグ

赤い羽根、千円以上で

新型コロナウイルスの感

染拡大で活動の機会が少なくなり、赤い羽根共同募金への寄付が減少傾向にある中、通信制の第一学院高校神戸キャンパス（中央区）の生徒らが、千円以上寄付するもらえるオリジナルトートバッグを制作した。

地域福祉などに活用される募金について若者の関心を高めようと、中央区共同募金委員会が同校に協力を依頼した。生徒約20人が同委員会と連携し、グッズや予算、ロゴのデザインを考案。約2カ月かけてバッグを完成させた。

バッグは神戸の方言を取り入れ、「募金しと〜とば

第一学院高の生徒がデザイン、制作



つく」と名付けた。大きさは縦37センチ、横36センチ。アルファベット「KOBEN」の文字にポータタワーやパ

赤い羽根共同募金への寄付でもらえるトートバッグをPRする第一学院高校の生徒＝中央区役所

ンダなど、神戸を象徴するカラフルなイラストをあしらひ、パンダのササにさりげなく赤い羽根を描いた。

デザインを担当した同校2年の森島日向さん（17）は「神戸の魅力を再発見できたし、学校のみならず協力していいものを作ることができた」と笑顔だった。

10月2日に中央区役所（同区東町）でバザーやイベント「中央BONフェスタ」が開かれるのに合わせ、同日午後1時ごろから同区役所前で街頭募金を予定。ほかの場も含め協力した人に計300個を配る。

個別に寄付を希望する場合は、同委員会 ☎078・3355・7511へ。

（名倉あかり）